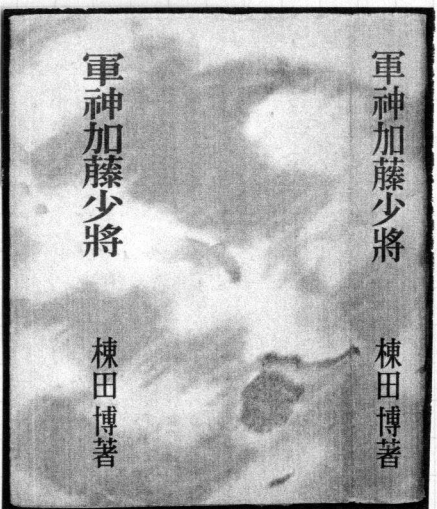


加藤建夫 かとうけんぷ 陸軍軍人。明治二十六年九月二十八日北海道旭川生れ、昭和十七年五月二十一日歿（一九三二四）。昭和十四年陸軍大學校專科卒。飛行第〇天隊中隊長として白支事變の活躍。大東亞戦争では飛行第六四戰隊長となり、一式戰闘機 一式せんとうき 律 りつ で編成した加藤建夫戰闘隊を指揮し、戦果も重なるも、ベンガル灣で戦死した。死後、階級特進として少將、軍神と稱揚せられた。また、エンジンの音、轟々と〜と始まる部隊歌は全国的に暗はれた。

田中林平著『加藤攻撃戰闘隊』（昭和十七年十一月八日鎌書房）、棟田博著『軍神加藤少將』（昭和十八年一月二十日大日本雄辯會講談社）、春陽堂編輯部編『（空）軍神加藤建夫少將』（昭和十八年二月二十一日春陽堂書店）、木村教著『加藤軍神』（昭和十八年四月二十日大阪・全國書房）、中村新太郎著『悠久の翼（ビルマ連戰闘機隊鈔）』（昭和二十年一月十五日日本報道社）、安田義人著『加藤建夫戰闘隊』（昭和四十二年十一月十日河出書房『太平洋戰記』）等刊。



軍神加藤少將

棟田博著

軍神加藤少將

棟田博著